平成 26 年 7 月 1 日発行　　１１６号

清 水 港 湾 事 務 所 広 報 紙

みなとしみず

発　行
国土交通省中部地方整備局
清 水 港 湾 事 務 所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町７番２号
TEL. ０５４－３５２－４１４６(代表)
http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp

～CONTENTS～

○清水港新興津コンテナターミナル整備効果と清水港利用による経済効果　○夏のイベント情報　○夏休み親子見学会開催
○清水港見学会開催　○港で働く女性にインタビュー(第１回)　○シリーズ「エアガール　東京ー下田ー清水定期航空路②」(全４回)」

清水港新興津コンテナターミナル整備効果と清水港利用による経済効果

【清水港新興津コンテナターミナル２号岸壁の整備効果】

清水港新興津コンテナターミナルの供用から１年が経過し、当事務所では整備後の効果を分析しました。主な整備効果は以下の３点。

≪２隻接岸した新興津コンテナターミナル≫

１．清水港におけるコンテナ積み替え実績が１２倍に増加

２隻同時利用が可能になったことで、これまでシンガポール港などで行われていた、北米・欧州航路の大型船からアジア近海航路や国内航路のコンテナ船への積み替え輸送を清水港の同じふ頭内で行う事が可能になったため清水港でのコンテナ積み替え貨物量が整備前の約１２倍に増加しました。

２．清水港全体のコンテナ取扱能力が約３６％向上

２号岸壁の供用により港内のコンテナ取扱いふ頭の混雑緩和など利用状況が効率化した結果、清水港全体のコンテナ取扱効率（1 時間当たりの取扱能力）が全体で約３６％向上しました。

≪新興津コンテナターミナル(手前)と袖師コンテナターミナル(奥)≫

３．利用船舶の渋滞緩和で年間約４千万円のコスト削減

昨年５月に２号岸壁が完成し延長 700m の岸壁となったことで、大型コンテナ船の２隻同時利用が可能となり、供用前に週１回程度発生していたコンテナ船の利用待ちがゼロになりました。貨幣換算で年間約４千万円のコストが削減されました。

【清水港利用による経済効果】

当事務所で県内企業が清水港を利用することによる経済効果がいったいどの程度あるのか試算しました。その結果、県内総生産の 13.4%約 2 兆円)、静岡市総生産の 13.0%（約 0.4 兆円）の経済効果、更に県内従業員者数の 19.4%（約 37 万人）、市内従業員者数の 22.9%（約 8 万人）の雇用創出効果があることが分かりました。

夏のイベント情報！

この夏、“みなと”ではいろいろなイベントが企画されています。ぜひこの機会に港へ出かけてみませんか？

◎７月２０日(日)　踊夏祭(おどらっかさい)
大井川港にて踊りをメインに様々な催し物を開催
【問い合わせ】踊夏祭実行委員会　ＴＥＬ：054-626-6266

◎７月２０日(日)　田子の浦ポートフェスタ
田子の浦港、富士埠頭５号岸壁にて、自衛隊による艦艇一般公開、装備品展示など　※田子の浦みなと祭りも同時開催！
【問い合わせ】富士市産業経済部産業政策課港湾振興室
ＴＥＬ：0545-55-2816

◎８月１日(金)、２日(土)　清水みなと祭り
さつき通りにて港かっぽれ総おどりを開催
８月３日(日)　日の出埠頭にて海上花火大会
【問い合わせ】清水みなとまつり実行委員会
ＴＥＬ：054-354-2189

◎駿河湾フェリー最大半額キャンペーン
今なら運賃もお得なのでぜひ伊豆へ、静岡市へ出掛けませんか?
駿河湾海上交通活性化協議会では、グッズ配付や様々なサービス向上を行い、フェリー利用者の増加による地域の活性化を目指しています。
【問い合わせ】㈱エスパルスドリームフェリー　ＴＥＬ：054-353-2221
７月 19 日～8 月 31 日期間は「大人１名につき小学生２名まで運賃無料！！」

～〝清水港〟に大型客船続々入港！～

清水港に入港する過去最大の客船！

- ８　月 16 日（土）　8：00 ～ 17：00　飛鳥Ⅱ
- ９　月 14 日（日）10：00 ～ 17：00　にっぽん丸
- ９　月 30 日（火）　7：30 ～ 15：30　セレブリティミレニアム
- 10　月 24 日（金）12：00 ～ 20：00　セレブリティミレニアム
- 10　月 27 日（月）　7：00 ～ 15：00　セレブリティミレニアム
- 11　月 21 日（金）～11 月 25 日（火）　海王丸（練習帆船）
- 12　月 22 日（月）　8：00 ～ 17：00　飛鳥Ⅱ
- 12　月 23 日（火）　8：00 ～ 14：00　ぱしふぃっくびいなす

※　天候等の都合により、予定が変更になる場合があります。
船内見学については、下記ホームページにてご確認ください。
【お問い合わせ先】清水港客船誘致委員会　電話 054-354-2432
ホームページ http://www.shimizu-port.jp/shipinfo.html

≪「にっぽん丸」清水港にて撮影≫

○●○夏休み親子見学会への参加をお待ちしています○●○●○●○

毎年、夏休みの時期に清水港の親子見学会を開催しています。
今年も、(一社)清水建設業協会と共催で清水港の勉強と船上からの見学などを行います。

日　　時：　平成２６年８月 22 日(金)　９：00～11：30
集 合 場 所：　清水マリンビル１Ｆ(静岡市清水区日の出町 9-25)
対　　象：　小学生の親子１２組程度(先着順)※父兄同伴必須
申 込 方 法：　はがき・ＦＡＸのいずれか
(参加者の氏名、年齢、住所、連絡先を下記まで送付)
申　込　先：　〒424-0114　清水区庵原町 149-6(一社)清水建設業協会
ＦＡＸ：054-364-3280
お問い合わせ：　一般社団法人清水建設業協会　　電話　054-364-5636
※問い合わせ時間：平日９：00～17：00

≪昨年の見学会の様子≫

申込み期間は、平成 26 年７月 15 日(火)～31 日(木)まで！
※参加費無料！！

〝清水港〟見学会開催！！

～ぶんかさろん・しみず「清水再発見シリーズ」～

平成 26 年 4 月 22 日(火)清水区の歴史・文化の掘り起し活動をしている「ぶんかさろん・しみず　(32 名)」の依頼を受け、港内を案内しました。

当日は、初めに、会議室にて「物流や清水港の概要」などについて当所職員から説明をしました。清水港に入港するコンテナ船の大きさを聞いて「そんなに大きい船が清水に来るの！」と驚いている方が多くみられました。

次に港湾業務艇「まさき」に乗船し、新興津第二バースに停泊するコンテナ船や「清水港みなと色彩計画※」に取り組む施設などを船上からご覧いただきました。参加者は、全員清水区出身ということでしたが、海から見る違った景色を感じ、新たな「清水」を再発見できたと大変喜んでおられました。

※「清水港みなと色彩計画」とは、富士山をはじめとする美しい自然景観と調和した人工景観を創出する目的のもと、清水港のエリア毎にまとまりをもった色彩方針により官民が一体となって取り組んでいる計画です。

～掛川市立東中学校　２年生～

平成 26 年５月１４日(水)「掛川市立東中学校(45 名)」からの依頼を受け、見学会を行いました。

当日は、清水コンテナターミナル㈱にご協力いただき、同社の屋上にて、富士山がきれいに見える中で、「清水港」の概要や港の役割や重要性、コンテナの種類やコンテナターミナルの諸施設について、生徒の皆さんに説明をしました。生徒の皆さんは、説明を聞きながら真剣にメモを取る姿も見受けられ、質疑応答の際には、「あのガントリークレーンの種類はなんですか？」「どうやってあの大きいガントリークレーンを運んできたの？」などと、質問をされていました。

後日、掛川市立東中学校の皆さんから、「清水港のことを学べてうれしかったです。」など‘お礼や感想のお手紙’を沢山頂きました。

清水港を勉強したい！船に乗って見学をしたい！という方は、
お気軽にお問合せください！

港で働く〝女性〟にインタビュー！(第１回)

港で働く〝女性〟にインタビューしていきます！！

第１回目は、私の自己紹介をさせていただきます！
私は、国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所の企画調整課に所属しており、主に広報を担当しています。

普段は、事務仕事をしていますが、見学会の依頼があった時は、船に乗り、清水港の説明・案内をしています。
これからも、もっと清水港のことを勉強して、たくさんの方に清水港をわかりやすく伝えていきたいと思っております。

国土交通省　中部地方整備局　清水港湾事務所　西村

シリーズ「エア・ガール」東京-下田-清水定期航空路②(全４回)

※このシリーズは県内で知る人が少ない「東京-下田-清水定期航空路」について取材をしてこられた山口氏の寄稿によるもので、今回は連載２回目です。

昭和６年１月紙面により募集された日本初の「エア・ガール」には各方面より様々な反響があり、２月５日の試験当日には 141 名の応募がありました。８割以上が、高等女学校在学生或いは卒業生で占められる一方で、カフェや百貨店の店員、簡易保険局員など多彩な業種の顔触れが集まり、口頭による一次試験が開始されました。

ここで、この「エア・ガール」採用試験を主催した「東京航空輸送社」について触れておきます。「日本飛行学校」を経営していた相羽有氏は、モータリゼーションにいち早く着目し蒲田に「日本自動車学校」を設立。フォードやシボレーなど外国車を多数使用した自動車学校は大成功し、航空事業もテコ入れすべく昭和３年９月に同社を設立しました。その際にアブロ式水上機による「鈴ヶ森（東京）ー伊東ー下田」週１便の定期便が協議され、昭和４年 11 月 17 日に運行が始まりました。

就航先の下田は、明治時代には東京湾の守りと石炭補給基地として栄えましたが、燃料の重油への移行に伴い重要性が薄れ、それ以降は蓮台寺の金山以外の産業は低調だったようです。良港でしたが、陸路では、駿豆線（伊豆箱根鉄道）駿豆線大仁駅まで乗合自動車を使い半日以上かかったようで、悪天候時には天城連山を越える道も塞がり、陸の孤島となる事も度々あったようです。時代が昭和になり、東京ー伊豆大島ー下田航路を持つ東京湾汽船や渋沢栄一氏などにより、昭和２年玉泉寺にハリス記念碑、翌年には写真師下岡蓮杖の碑が建立されるなど観光地としての整備が進むと、伊豆大島・下田観光の一大ブームが起こり、観光地としての下田が確立されます。まさにこのタイミングでの航空路の開設でした。

鈴ヶ森（東京）は、現在の羽田空港付近であり、ここには日本飛行学校、東京航空輸送社が有りました。就航先の下田にも搭乗者や貨物の取扱い先が必要であり、常駐する整備士や悪天候時のパイロットの受け入れ先として「蓬莱館」という旅館を使用していました。この旅館は、現在も営業しており、館内には貴重な写真が保存されています。下田の搭乗場所は、陸上機と違い滑走路が必要無い為、確定が困難でしたが、蓬莱館の土屋さんの証言と写真により武ケ浜付近であった事が判明しました。

武ヶ浜付近の水上飛行機

当時の蓬莱館の様子

山口博史（やまぐちひろふみ）昭和 43 年、静岡市清水区生まれ。フォトグラファー、テレビ撮影技術スタッフ。下田市取材中に「東京ー下田ー清水」定期航空路に関わった旅館に出会い、10 年以上各地で調査している。

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おーいに　よくなれ　みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）

☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

・海やみなとの利用に関すること
・総合的な学習時間に関すること
・みなとの構想や計画に関すること
・海洋土木技術に関すること
・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所　企画調整課

野村・西村TEL　054－352－4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp